

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成24年10月1日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第21号

こんにちは、ばんよしはるです。まだまだ日中は日差しがきつい日がありますが、古都いかるがの秋の季節がやってきました。

一年を通じても秋のいかるがが好きです。今日より明日が少しでも良くなるようにしなければなりませんし、素晴らしいまちと誇れる状態で未来にバトンを渡したいと思っています。

この9月議会では、平成23年度決算審査が行われました。

決算審査は次年度の予算を決定する時の重要な判断材料となることから、大切な審議なので9月12日から14日まで3日間かけて集中審議がなされました。

その中の一部の概略として

(質問) 後期高齢者医療制度で医療機関に支払う自己負担割合が3割の方でも申請をすれば収入判定により1割になる場合があるが、その場合何故、申請をしなければならないのか。後期高齢者保健に加入されている方は、75歳以上の方々が対象となり場合により、入院されておられるケースも考えられる。保健料算定時に町の方で把握できているのではないのか。

(回答) 法律施行規則で決められているので、職権ですることは難しい。

(質問) 斑鳩町として、このままでよいと考えているのか。

(回答) 来年度からは、該当される方々に対し申請書と返信用封筒を同封し、ご返信が無い場合は電話連絡させていただき、連絡がつかない方に対しては職員がご自宅に訪問させていただきます。

(質問) 申請が遅くなったため、3割から1割になる方が医療機関に3割で払っていた場合、差額の医療費は返還してもらえるのか。

(回答) 申請があった月の翌月初日からの適用になっているので、医療費の返還はできない。しかし、来年度からは、医療負担が1割から3割になった方に対し、いきなり3割負担にせず猶予期間をもつように運用させていただきます。

その他の審議としては、いかるがパークウェイの進捗状況等、一般質問では教育委員会に対し、全国学力テストの結果についての必要最低限の情報公開がなされないことについて議論させていただきました。

これは、学力テストの結果の是非というよりも、住民に情報公開したがる、体質を懸念して質問いたしました。これが「いじめ」問題にも繋がるからです。未来を背負う子どもたちが大切です。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。